

介護リフォームで 急成長



ユニバーサルスペース（横浜市戸塚区戸塚町、☎045・392・6015）は、「介護リフォーム」で急成長を遂げる。年間6000件を施工。「介護リフォーム本舗」のブランド名でフランチャイズ（FC）展開もしており、全国30店舗を擁している。「介護リフォームは、介護と建築の知識を組み合わせた新領域です」と遠藤哉社長は話す。



が多く、費用対効果の面で、大手企業は敬遠する傾向にあります」と遠藤社長。一方、同事業への参入を考える中小工務店にとってはノウハウがない。

■介護事業者と連携

その点、同社は介護を熟知したケアマネジャーやヘルパーなどを抱える介護事業者と連携。「一人の介護には複数の人間が関わる」との考え方から、実際に現場で介護する人

たちと打ち合わせし、リフォーム後の使い勝手を想定した上で施工する。「同じリフォームでも介護リフォームの場合は建築の知識だけではできないのです」。

ユニバーサルスペース

2009年1月設立と歴史は浅いものの、超高齢化社会を見据えたビジネスモデルが的中し、グループ年商は6億円に達した。

高齢者がいる

住宅では、手すりを付けたり、段差を解消したりする介護リフォームの需要が高まっており「市場規模は1兆円」（遠藤社長）と言う。

介護リフォームを施す場合は、介護保険が適用される。ただ「少額の工事でも申請書類ノ

消費者に直接営業するのではなく、全国の介護業界とパイプを持ち、そこから受注につなげている。

■景気の波に左右されず

力を入れるのがFC展開。新規参入したい事業者や起業したい人を対象に加盟店を募集している。初期費用は400万円から、加盟金は200万円。事業に必要な知識を学ぶ研修から、実際の顧客開拓まですべてサポート。現在の30店舗のうち26店舗がFC店だ。

「介護リフォームは生活の一部なので景気の波に左右されません。まずは全国100店舗を目指します」と遠藤社長は話している。

市場規模1兆円
超高齢化で需要

FCを
全国展開